

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【公表番号】特表2018-511838(P2018-511838A)

【公表日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2017-560902(P2017-560902)

【国際特許分類】

G 0 9 F	9/00	(2006.01)
H 0 5 K	7/20	(2006.01)
F 2 8 F	3/04	(2006.01)
F 2 8 F	21/06	(2006.01)
F 2 8 D	9/00	(2006.01)

【F I】

G 0 9 F	9/00	3 0 4 B
G 0 9 F	9/00	3 3 6 E
G 0 9 F	9/00	3 2 4
G 0 9 F	9/00	3 5 0 Z
H 0 5 K	7/20	H
F 2 8 F	3/04	A
F 2 8 F	21/06	
F 2 8 D	9/00	

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月2日(2018.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子ディスプレイを取り囲むハウジング及び前部パネルと、

前記前部パネルの周辺の部分に沿って配置される、開ループ流体を取り込むための取込ギャップと、

前記前部パネルの周辺の部分に沿って配置される、開ループ流体を排出するための排出ギャップと、

前記電子ディスプレイの後ろに配置されるチャネルと、

開ループ流体が前記取込ギャップから前記チャネルに移動可能な第1の気体経路と、

前記開ループ流体が前記チャネルから前記排出ギャップに移動可能な第2の気体経路と、

、前記開ループ流体の流れを形成するように配置されるファンと、

前記取込ギャップと前記排出ギャップとの間に配置されるバッファ・ゾーンと、

前記バッファ・ゾーン内に設けられる中央隔壁と、

を備える電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項2】

垂直的に配置され、且つ前記第1の気体経路の少なくとも一部を形成する第1の側部チャネルと、

垂直的に配置され、且つ前記第2の気体経路の少なくとも一部を形成する第2の側部チ

チャネルと、

を更に備える請求項1に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項3】

前記第1の側部チャネル内に設けられるチャネル隔壁を
更に備える請求項2に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項4】

前記チャネル隔壁は、前記開ループ流体の垂直方向の流れを実質的に防止する、請求項3に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項5】

前記取込ギャップ及び前記排出ギャップは、前記電子ディスプレイの意図された観察者と対向する、請求項1に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項6】

電子ディスプレイと、

前記ディスプレイを取り囲むハウ징と、

前記電子ディスプレイの意図された観察者と対向するように、前記ハウ징の上に設けられる取込ギャップと、

前記電子ディスプレイの意図された前記観察者と対向するように、前記ハウ징の上に設けられる排出ギャップと、

前記電子ディスプレイの後ろに配置されるチャネルと、

垂直的に配置され、且つ前記取込ギャップと前記チャネルとの間の気体の通行を可能にする第1の側部チャネルと、

垂直的に配置され、且つ前記チャネルと前記排出ギャップとの間の気体の通行を可能にする第2の側部チャネルと、

開ループ流体を前記取込ギャップに流入させ、前記第1の側部チャネルを介して、前記チャネルを介して、前記第2の側部チャネルを介して、前記排出ギャップから排出せるように、配置されるファンと、

前記取込ギャップと前記排出ギャップとの間に配置されるバッファ・ゾーンと、

前記バッファ・ゾーンと同じ垂直方向の高さに設けられる中央隔壁と、

を備える電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項7】

前記第1の側部チャネル内に設けられるチャネル隔壁を

更に備える請求項6に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項8】

開ループ流体用の第1の経路と循環ガス用の第2の経路とを有する熱交換器と、

前記循環ガスが前記熱交換器を強制的に通過するように、配置される循環ファンと、
を更に備える請求項6に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項9】

前記チャネルは、LEDバックライトとプレートとの間の空間によって規定される、請求項6に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項10】

前記取込ギャップは、前記アセンブリの第1の垂直方向の半分に設けられる一方、

前記排出ギャップは、前記アセンブリの反対の垂直方向の半分に設けられる、請求項6に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項11】

前記第1の側部チャネルからの開ループ流体を受け入れて前記電子ディスプレイの後ろのチャネルに向ける、前記電子ディスプレイの後ろのドア・キャビティを

を更に備える請求項6に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項12】

電子ディスプレイと、

前記電子ディスプレイを取り囲むハウ징及び前部パネルと、

前記電子ディスプレイの垂直方向の中央の上に配置され、且つ前記前部パネルと前記ハウジングとの間に位置する取込ギャップと、

前記電子ディスプレイの垂直方向の中央の上に配置され、且つ前記前部パネルと前記ハウジングとの間に位置する排出ギャップと、

開ループ流体用の第1の経路と循環ガス用の第2の経路とを有する熱交換器と、

前記循環ガスが前記熱交換器を強制的に通過するように、配置される循環ファンと、

前記取込ギャップと前記排出ギャップとの間であって前記電子ディスプレイの垂直方向の中央の近くに配置される中央隔壁と、

開ループ流体の流れを前記取込ギャップに入れて、前記熱交換器を介して、前記排出ギャップから出させるように、配置されるファンと、

垂直的に配置され、且つ前記取込ギャップと前記熱交換器との間の気体の通行を可能にする第1の側部チャネルと、

垂直的に配置され、且つ前記チャネルと前記熱交換器との間の気体の通行を可能にする第2の側部チャネルと、

前記第1の側部チャネル内に設けられる第1の側部のチャネル隔壁と、

前記第2の側部チャネル内に設けられる第2の側部のチャネル隔壁と、

を備える電子ディスプレイ・アセンブリ。

【請求項1-3】

前記第1及び第2の側部のチャネル隔壁は、開ループ流体の垂直方向の流れを実質的に防止する、請求項1-2に記載の電子ディスプレイ・アセンブリ。